

大規模災害が
起こったら
どうする？

人とペットの 災害対策

人とペットが共に災害を乗り越えるために、
解決すべき課題や対策を整理した
新しいガイドラインを策定しました。
本シンポジウムを通して、
あなたとペットの災害対策を考えてみませんか。



開催日時 | 平成30年 2月25日 (日) 13:00-17:00
[12:30開場]

会場 | イイノホール&カンファレンスセンター
東京都千代田区内幸町 2-1-1 飯野ビルディング4F

スケジュール

- 12:30 開場
- 13:00 開演
- 13:10 基調講演
 - 13:10~13:50 国崎氏
 - 13:50~14:30 平井氏
 - 14:30~15:10 則久氏
- 15:10 休憩
- 15:25 パネルディスカッション
- 17:00 終了

基調講演



国崎信江

一般社団法人
危機管理教育研究所
代表

「過去の震災を教訓とし
今後の災害から
命と暮らしを守る」



平井潤子

公益社団法人
東京都獣医師会
事務局長

「飼い主力と防災力
ペットと家族の防災対策」
～大切な家族とペットを守るために～



則久雅司

環境省自然環境局
総務課動物愛護管理室
室長

「人とペットの災害対策」
～多様な動物観を踏まえた
動物の愛護と管理～

パネルディスカッション

「人とペットが共に災害を乗り越えるために必要な飼い主と自治体の役割と課題」

国崎信江 一般社団法人
危機管理教育研究所 代表

丸目陽子 公益社団法人 熊本YMCA
ながみねファミリーセンター 館長

[コーディネーター]

沼田一三 一般財団法人
ペット災害対策推進協会 副理事長

山根泰典 徳島県危機管理部
消費者くらし安全局安全衛生課 課長

村中志朗

平井潤子 公益社団法人
東京都獣医師会 事務局長

則久雅司 環境省自然環境局
総務課動物愛護管理室 室長

公益社団法人
日本獣医師会
副会長

国崎 信江

一般社団法人 危機管理教育研究所 代表

近年発生した大規模地震災害の被災地において、住民と行政、支援団体との間でペットの扱いについて様々な考えのもと問題が生じている。その問題に対応し行政職員の支援をしてきた経験から今後の災害時における対応を検証する。

平井 潤子

公益社団法人 東京都獣医師会 事務局長

三宅島噴火災害救援活動を機に、災害時に人と動物が同行避難し伴に避難生活が送れるよう、動物の飼育管理者がなすべきことを啓発するNPO法人アナイスを設立し今日に至る。この活動実績を活かし、東京都獣医師会においても災害時救援活動に参画。

則久 雅司

環境省自然環境局
総務課動物愛護管理室 室長

自然保護系技官(レンジャー)として、国立公園や世界自然遺産の保全管理、野生動物の保護管理等に従事。平成27年7月より現職。動物に対する多様な価値観の存在を踏まえ、寛容さを基調とした人と動物が共生する社会の形成について考える日々。

パネルディスカッション

コーディネーター

村中 志朗

公益社団法人日本獣医師会 副会長

数多くの地震災害現地に赴き、被災動物救護活動に従事。現場での経験を活かし、獣医師会としての組織的救護体制を構築してきた。現在は公益社団法人東京都獣医師会会長・公益社団法人日本獣医師会副会長を務める。

丸目 陽子

公益財団法人 熊本YMCA
ながみねファミリーセンター 館長

熊本地震発災後、熊本YMCAが指定管理者であった益城町総合運動公園が避難所となり、役場から委託を受け運営を担う。発災直後からペット同伴の避難者受入れを行い、支援ボランティアと協力をしながら、同伴別居という避難スタイルを形成した。

山根 泰典

徳島県危機管理部 消費者暮らし安全局
安全衛生課 課長

徳島県では、南海トラフ巨大地震など大規模災害に備え市町村等関係機関との連携強化を図るため、昨年、環境省との連携のもと図上訓練を行った。今後は、現状での課題を分析し、災害対策の強化に向け、しっかりと取り組んで参りたい。

沼田 一三

一般財団法人 ペット災害対策推進協会
副理事長

元兵庫県職員。平成7年に発生した阪神淡路大震災での動物救護活動に従事。また、平成23年に発生した東日本大震災での動物救護活動を支援。平成26年から本協会理事に就任、平成28年から現職。

